

1. 研究活動

学会発表 節境界に関わる問題：動詞の文法化	2009. 10. 11	日本機能言語学会 (JASFL) 第17回秋期例会	日本語において節境界を認定する場合に生じる問題のうち、動詞の文法化に焦点を当てて論じた。節は述部をもつ単位であり、日本語では動詞群、形容詞群、名詞群+コピュラ (だ) が述部として機能する。しかし実際には、動詞群が文法化によって機能語の一部となり、述部を担わないケースが多い。動詞群が節を成す場合と成さない場合をどう判別するか、その判断法をテキスト分析に基づいて提案した。
論文 Genre-Based Approach to Teaching Tense in English classes: Tense in Art Book Commentaries	2009. 6. 30	機能言語学研究第5巻	英語で書かれた美術書の解説部分を、使用される時制 (Tense) の観点から分析した。用いられている時制のパターンから、美術書が複数のジャンルが組み合わせられた「マクロ・ジャンル」であることを示し、こうしたジャンルを英語で読み書きする上で、またそれを学生に教育する上で、注意すべき特性を明らかにした。
論文 ジャンルと英語教育：美術書にみる文法資源選択の偏り	2009. 10. 10	Proceedings of JASFL Vol. 3	英語で書かれた美術書の解説部分を、叙法・過程型などいくつかの文法システムの観点から分析した。用いられている選択肢を数量的に明らかにすることで、特定のジャンルでは、一定の偏った文法資源しか用いられないことを示した。それにより、英語教育において特定のジャンルのみを用いることの功罪を指摘した。
論文 専門的英語教育とジャンル理論 (後半)	2010. 3. 26	名古屋芸術大学研究紀要 第31巻	英語の美術書に記載されている「作品介绍」のテキストを多数分析することで、このジャンルに特有の段階構造・語彙文法的特徴を示した。それにより、芸術大学において、学生が専門科目を学ぶために必要とする英語力を育成するにはどのような教材・授業内容が適切かを考えるための基盤を示した。

2. 教育活動 (教育実践上の主な業績) 大学院授業担当 有 無

授業科目 英語1	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
単なる英文和訳に終始せず、「ジャンルの観点からみた英語教育」という自らの研究に基づき、様々なジャンル (レシピや新聞記事) の英語を取り上げ、各ジャンルに特有の書き方を解説した。また、画集 (西) やCDの歌詞カード、絵本 (東) など、学生の専門領域に関わるテキストも取り入れるように留意した。	講読テキストは実際に英語圏で用いられている英文の中から選び、毎回、プリントを制作して配布した。プリントには、学生が自分で単語をメモして書き込むスペースや、板書事項をメモする部分なども設け、教材としての利便性を図るとともに自主的な学習を促した。プリントは毎回全員分回収して採点した。
授業科目 英語3	
◆前期 ◆後期	

工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>「専門に関わる英語を読んでみよう」という副題のもと、英語の画集や作家紹介文、英語の歌詞や楽器の説明、絵本や幼児教育にかかわる文献など、学生の専門領域に関わりの深い英文を取り上げた。それにより、学生が各ジャンルに特有の書き方や用語を身につけ、英語を道具として自分に必要な情報を手に入れることができることを目指した。</p>	<p>講読テキストは実際に英語圏で用いられている英文の中から選び、毎回、プリントを制作して配布した。プリントには、学生が自分で単語をメモして書き込むスペースや、板書事項をメモする部分なども設け、教材としての利便性を図るとともに自主的な学習を促した。プリントは毎回全員分回収して採点した。</p>

3. 学会等および社会における主な活動

日本機能言語学会 (JASFL)	2000. 4 から現在まで	学会発表
------------------	----------------	------